

11. 横浜市訪問看護師のキャリアラダー・発達別訪問看護師チェック表 詳細版

詳細版 CDP1 段階: 新卒・新任

【評価基準】 各CDPの評価項目ごとに、「未経験」の場合は○をつけ、その他は自己評価に1～5の5段階でチェックする

【評価の目安】 1:できない / 2:指示や確認がないと行動できない / 3:促しがあれば行動できる / 4:多少の促しは必要であるが行動できる / 5:できる

能力	小項目	初回(月 日)			2回目(月 日)			3回目(月 日)			
		未経験	自己評価	育成者評価	未経験	自己評価	育成者評価	未経験	自己評価	育成者評価	
		CDP1(訪問看護ステーションの基本的機能・役割を知り、スタッフとして同行訪問できる)									
	新卒・新任										
基本的な能力	基本姿勢	就業上のルールを守る									
		事業所の理念・活動目標を理解する									
		一般的な訪問看護のマナーを踏まえた態度をとる									
		礼儀正しい態度や言葉遣いで家族・利用者に対応する									
		清潔感のある服装で訪問する									
		来客・電話に適切に対応する									
		各家庭の「価値観」を理解して行動する									
		訪問予定を把握して準備する									
		訪問看護の目的・サービス内容を知っている									
		地域の交通機関の利用方法、道路事情、訪問先までのルートを把握する									
倫理	コミュニケーション能力	訪問時間を守り、やむを得ず遅れる場合は事前に同行者及び職場へ連絡する									
		日頃の自身の健康管理に努める									
		自身のストレスマネジメントをする									
		利用者・家族の人権や自由が侵されていると思われる場合に、気づき先輩に伝える									
		看護者の倫理綱領にそって考える									
		利用者・家族と良好な関係を築く、コミュニケーションをする									
		利用者・家族に関する事柄について他者に説明する方法を身につける									
		同僚・管理者と円滑なコミュニケーションをとる									
		他の看護師(職場問わず)と交流する場を持つ									
		組織内部の連携	意思決定支援	日々の看護活動についてタイムリーに報告・連絡・相談する							
職員間の協調性を大切にし、事業所規則にあった行動をする											
一人で判断が困難な問題に関して、同僚・管理者に速やかに相談する											
出来ないこと、難しい、不安だと感じていることは、素直に「できない」と言える											
自分が困ったり、わからないことは先輩の心象に配慮しつつ、素直に聞く姿勢をもつ											
利用者・家族に不満や苦情、トラブルが生じた際に管理者・主任に相談や報告する											
先輩以外にも相談できる先がある											
意思決定支援の必要性とプロセスを理解する ★マニュアル(7) その他を参照											
利用者・家族の意思を尊重し、目標に向かい、訪問看護計画を立案する											
疾患別のターミナルプロセスの特性を把握する ★マニュアル(7) その他を参照											
看護サービス実践能力	家族支援	利用者・家族の持つ力を引き出す方法を身につける									
		利用者・家族を一単位の看護の対象として考える									
		同行者とともに利用者・家族に健康管理や日常生活のアドバイスをする									
		地域の社会資源についての情報収集方法を把握する									
		地域の保健医療福祉資源を把握する									
		地域の中での訪問看護ステーションの役割を理解する									
		在宅看護に必要な基本的看護技術を身につける									
		看護ケアや医療機器管理が、安全に提供できる技術を身につける									
		看護技術について、自信があることとないことを、先輩看護師に伝えている									
		訪問看護と施設(病院内)看護の違いが説明できる									
訪問看護の知識・技術	フィジカルアセスメント	在宅療養者・高齢者の特性を把握する									
		先輩の助言の下、利用者が正常か異常か判断する									
		呼吸器・循環器・消化器・中枢神経の各系統に関する解剖生理を理解する									
		利用者・家族から、症状に対する主観的な情報収集を行う									
		呼吸器・循環器・消化器・中枢神経の各系統に関する身体的診察技術を習得する									
		先輩の助言の下、呼吸器系・循環器系の緊急性や重症度を知る									

		初回(月 日)			2回目(月 日)			3回目(月 日)			
能力	小項目	CDP1(訪問看護ステーションの基本的機能・役割を知り、スタッフとして同行訪問できる)									
		未経験	自己評価	育成者評価	未経験	自己評価	育成者評価	未経験	自己評価	育成者評価	
看護サービス実践能力	在宅看護過程	生活者の視点で必要な健康管理や医療を提供する									
		同行者とともに十分に利用者・家族の話を聞く									
		看護の実施に当たり、利用者の権利を守り、個人の意思を尊重する									
		提供する看護の内容を事前に分かりやすく説明する方法を身につける									
		必要な情報を収集する方法を身につける									
		訪問前、訪問中、訪問後のそれぞれで訪問看護師の役割を考える									
		訪問先・訪問予定を確認して、必要な情報をもとにその日の行動計画を立てる									
		訪問看護に必要な物品や身支度を事前に整える									
		利用者の居室の生活環境(光、音、温度等)を整備する									
		先輩の助言の下、訪問看護計画に基づいて療養上の支援(世話)を行う									
		同行者とともに処置や手当てについては、手際よく実施する									
		各家庭の物を使う際は、利用者・家族に断り、効果的に使用する									
		利用者(家族)との約束はきちんと守る									
		訪問看護に必要な教育指導を利用者・家族の考えを尊重しながら、先輩の助言を受けて行う									
		利用者の病態から予測される問題に予防的に対処する方法を身につける									
		訪問後の物品片づけ、衛生管理を行う									
		訪問看護記録・報告書・計画書を先輩の助言の下、適切に書く									
	不足物品や修理の必要な物品については担当者に依頼するよう報告する										
	訪問後に事業所内・他機関に報告・申し送りを行う										
	感染管理	必要な感染対策がとれる									
安全に感染予防及び医療廃棄物の取り扱いを行う											
マネジメント能力	情報管理	個人情報保護の必要性を理解する									
		個人情報の取り扱いや電話・メールの出し方等事業所での取り決めを知る									
	組織運営管理	事業所のサービス内容の概要を把握する									
		訪問看護の報酬体系について把握する									
		基本的な医療保険、介護保険等の制度の仕組みを知る									
		訪問看護の利用者負担等について把握する									
	リスクマネジメント	訪問時必要な物品を整備・補充する									
		利用者・家族の安心・安全・安楽を念頭においてケアを提供する									
		利用者・家族の問題に気付いた場合には、速やかに相談する									
		事例集を利用して経験値をあげ、リスク対策について把握する									
	地域連携	緊急時の対応・連絡方法を把握する									
		災害時対応マニュアルを理解し、災害発生時は指示に従い適切に行動する									
先輩の助言の下、訪問の状況を医師やケアマネジャーなどへ適宜連絡をとる											
人間関係能力	先輩の助言の下、利用者の入退院時に、医療機関・その他の機関と連携する										
	先輩の助言の下、その他の必要な関係機関との連携や調整を行う										
教育研究能力	自己啓発・自己学習	地域内の多職種・他機関の専門性を理解し、尊重する									
		知識・技術・態度などの不足を補うために自己学習する									
		図書の利用やインターネット等、多様な方法で学ぶ									
		わからないことを正直に素直に質問をする									
		他者の意見を柔軟に受け入れ、視野を広げる姿勢を持つ									
		先輩と一緒に目標管理をする									
		実施した看護技術や経験について先輩と振り返る									
		先輩の思考と実践について根拠を確認し自身の実践に生かす									
		自己評価を行い日々の訪問看護に生かす									
		療養経過を踏まえた将来的な見通しについて先輩と話し合う									
		積極的に振り返りの時間を活用する									
		優先的に習得が必要な看護技術を把握する									
		看護技術練習の機会を自ら活用する									
		事業所内研修に積極的に参加する									
		自己目標に合った外部研修を受講する									
		看護以外のことにも興味をもって学ぶ									
		社会の出来事や動きに関心を向ける									
		先輩と利用者・家族との関わりを通して、対象やその家族の様々な価値観を知る									
		単独訪問前に受け持ち利用者についての関連図を書く									
	どんな看護師になりたいか、自分の関心ある事例を通して考える										
利用者・家族が療養生活をどう捉え過ごしているか考える											
教育指導研究	先輩の助言の下、カンファレンス等で自己の経験や気付きを述べる										
	所内での研究活動や関連雑誌を通して、研究の流れを知り興味を持つ										

詳細版 CDP2段階:一人立ち 横浜市訪問看護師のキャリアラダー・発達別訪問看護師チェック表

【評価基準】 各CDPの評価項目ごとに、「未経験」の場合は○をつけ、その他は自己評価に1~5の5段階でチェックする

【評価の目安】 1:できない / 2:指示や確認がないと行動できない / 3:促しがあれば行動できる / 4:多少の促しは必要であるが行動できる / 5:できる

能力	小項目	初回(月 日)			2回目(月 日)			
		未経験	自己評価	育成者評価	未経験	自己評価	育成者評価	
		CDP2(訪問看護計画に基づき単独訪問でき、報告、連絡、相談ができる)						
		一人立ち						
基本的な能力	基本姿勢	事業所の理念・活動目標を理解する						
		勤務時間内に就業できる						
		訪問予定時間通りに訪問する						
		効率的で安全な訪問看護スケジュールを立てる						
		利用者・家族に節度のある態度・服装で訪問する						
		訪問看護に対する関心が継続する						
		自分の心身の状態変化に気づき、状況に応じて速やかに対応する						
	倫理	職場の雰囲気良好に保つよう行動する						
		看護者の倫理綱領にそって行動する						
		必要とする個人の情報を、適宜適切な方法で本人の了解を得て入手・管理する						
		利用者・家族に対する説明責任を果たす						
	コミュニケーション能力	利用者・家族に対する説明責任を果たす						
		利用者・家族の人権や自由が侵されている状況がある場合は報告・相談する						
		コミュニケーションを通じて、利用者・家族から必要な情報を引き出す						
	組織内部の連携	利用者・家族に関する事柄について他者に説明する						
		利用者・家族の必要な情報を本人の了解のもと、他職種から得る						
		事業所内各職員の役割を把握する						
		訪問看護提供内容をタイムリーに報告できる						
		訪問時間に遅刻が発生した場合は管理者に報告できる						
		管理者や同僚の支援が必要か判断し、支援を求める						
		わからない事や、業務上の悩みについて相談する						
緊急時や予定外の出来事に事業所の業務マニュアルに沿って、管理者や主任に報告し指示を仰ぐ								
看護サービス実践能力	意思決定支援	利用者・家族の必要な情報を本人の了解のもと、他職種から得る						
		事業所内各職員の役割を把握する						
	エンパワメント	訪問看護提供内容をタイムリーに報告できる						
		訪問時間に遅刻が発生した場合は管理者に報告できる						
		管理者や同僚の支援が必要か判断し、支援を求める						
	家族支援	わからない事や、業務上の悩みについて相談する						
		緊急時や予定外の出来事に事業所の業務マニュアルに沿って、管理者や主任に報告し指示を仰ぐ						
		利用者・家族に不満や苦情、トラブルが生じた内容について、指示に従い報告書が書ける						
	社会資源	利用者・家族に関する事柄について、カンファレンス等で、適切に説明する						
		遅刻・欠勤時は責任をもって管理者に報告、調整依頼ができる						
訪問看護の知識技術	先輩の助言の下、利用者の意思を表明しにくくする要因はないか検討する							
	先輩の助言の下、最初に示された利用者の意思にしばらくは従うことなく、タイミングを逃さず、その意思を適宜確認し意思決定支援をする							
	エンパワメント	利用者・家族の持つ力を引き出す						
	家族支援	利用者・家族を一単位の看護の対象として働きかける						
		利用者・家族の療養に関わる選択・決定を支援する						
		利用者・家族の健康管理や日常生活の相談を受け止められる						
	社会資源	自分の所属する組織の地域にある社会資源を理解する						
利用可能な制度・社会資源を把握し、活用方法を説明する								
訪問看護の知識技術	担当利用者の疾患と看護について把握する							
	ステーションの概要、重要事項説明書・契約書内容・利用料金について、内容を理解する							
	担当利用者を取り巻く環境を踏まえた、医療処置・看護援助を提供する							
	利用者・家族の持つ力を査定し、十分に発揮できるように指導する							
	担当利用者に必要な看護ケアや医療機器管理を、所定の時間内に安全に提供する							
訪問看護の知識技術	処置や手当てについて、手際よく経済性を考慮して実施する							
	先輩の助言の下、利用者・家族を含めた、疾患別のターミナルプロセスの特性に合わせた看護を経験する							

		初回(月 日)			2回目(月 日)			
能力	小項目	未経験	自己評価	育成者評価	未経験	自己評価	育成者評価	
	CDP2(訪問看護計画に基づき単独訪問でき、報告、連絡、相談ができる)							
	一人立ち							
看護サービス実践能力	フィジカルアセスメント	先輩の助言の下、利用者の異常な状況を適宜医師へ報告する						
		呼吸器・循環器・消化器・中枢神経等の各系統に関する主観・客観的な情報収集を意図的に行う						
		先輩の助言の下、呼吸器・循環器・消化器・中枢神経等の各系統に関する緊急性や重症度の高い問題をアセスメントする						
	在宅看護過程	先輩の助言の下、得られた情報から、看護実践を行うべきかの判断、行うべき程度を考える						
		先輩の助言の下、必要な情報を収集し、具体的な目標を設定した看護計画を立てる						
		訪問看護計画に基づいて単独で療養上の支援(世話)を行う						
		在宅療養に必要な教育指導を利用者・家族の考えを尊重しながら行う						
		全身状態や生活の仕方、利用者の反応等を総合的視野から状況判断する						
		利用者の病態から予測される問題に予防的に対処する						
		状態に応じ、予測される利用者の状態を利用者(家族)に説明する						
		自分の行った訪問看護を記録し、他者からの評価・意見を心得て計画を修正する						
	感染管理	困難な看護介入を客観視し、他者の支援を求める						
		在宅療養における主要な感染症を理解し、予防対策に基づいたケアを提供する						
		主要な感染症への対応方法を理解し、拡大を予防する						
		利用者の感染予防を考慮し、物品の選択や訪問順序を決定する						
マネジメント能力	情報管理	事業所のマニュアルに従って、個人情報適切に管理する						
	組織運営管理	地域における事業所の役割を理解し、他者に説明する						
		訪問看護事業所の経済性を意識して行動する						
		自分の看護能力を客観的に評価し、質の向上に努める						
	リスクマネジメント	利用者・家族が緊急時連絡先がわかるようになっているか確認する						
		利用者の安全・安楽を考慮して医療機器、薬剤を管理する						
		利用者・家族に起こりうるリスクを想定し、対応できるように指導する						
		利用者・家族の問題の重要性・緊急性を的確に判断し、速やかに対処・報告する						
		先輩の助言の下、ヒヤリ・ハットの報告をする						
	地域連携	災害発生時の自分の果たす役割を理解する						
		訪問看護の役割を理解し、他者に説明する						
		サービス担当者会議などに参加し、看護職の立場で発言する						
		先輩の助言の下、関係職種・機関に対して連携をする						
		先輩の助言の下、訪問の状況を適宜医師へ報告をする						
	人間関係能力	人間関係能力	自分の迷いや困難体験を言語化し、他者の支援を得る					
地域内の多職種・他機関の専門性を理解し、情報交換する								
教育研究能力	自己啓発・自己学習	同僚・管理者の訪問看護に関心をもち、積極的に内容を聞く						
		訪問看護師としての自分の成長と将来の発展に期待をもつ						
		自分の実践を直視し、足りないところの指摘を受け入れる						
		自分の看護活動を客観的に分析し、整理する						
		利用者・家族の気持ちに立った看護実践について考える						
		受け持ち利用者についての事例検討会を開く						
		訪問事例に必要な知識・技術について事前に把握し、必要な看護を単独で提供する						
		一度訪問した事例は、次回一人で看護が提供できるように、必要な知識・技術について振り返る						
	受け持ち利用者についての事例検討会を通して、行った看護実践を振り返る							
	教育指導	教育指導	自分の看護実践を整理し、カンファレンス等で意見交換する					
先輩の助言の下、自己の経験や気付きから、利用者・家族への問題解決の糸口を考える								
研究	研究	研究活動や学会発表などに関心をもち、参加する						

【評価基準】 各CDPの評価項目ごとに、「未経験」の場合は○をつけ、その他は自己評価に1~5の5段階でチェックする

【評価の目安】 1:できない / 2:指示や確認がないと行動できない / 3:促しがあれば行動できる / 4:多少の促しは必要であるが行動できる / 5:できる

		初回(月 日)			2回目(月 日)		
能力	小項目	未経験	自己評価	育成者評価	未経験	自己評価	育成者評価
		CDP3(訪問看護計画が立案でき、状況判断に応じた24時間の対応ができる)					
	一人前						
基本的な能力	基本姿勢	事業所の理念・活動目標を理解して実践する					
		効率的で安全な訪問看護スケジュールを立てる					
		職場の雰囲気や良好に保つように、自身の立場を認識し行動する					
		自身の訪問看護の今後をイメージできる					
		自身のワークライフバランスをとる					
	倫理	倫理綱領について理解を深め、利用者・家族の擁護や代弁者として行動できる					
		必要とする個人の情報を、適宜適切な方法で入手・管理する					
		利用者・家族に対する説明責任を果たす					
	コミュニケーション能力	コミュニケーションを通じて、利用者・家族から必要な情報を優先順位をつけて引き出す					
		自身が立案した計画評価のために他職種から必要な情報を得る					
		利用者・家族に必要な情報を意図的に入手できるように他職種に協力を得る					
	組織内部の連携	メンバーシップを発揮し協力体制を維持する					
		担当利用者の看護計画や課題について事業所内職員に要点をまとめて伝えるなど意識的に組織内連携に貢献する					
		担当利用者の予測される内容について事業所内職員と共有する					
		緊急時訪問看護加算に対応するための必要な情報を共有する					
意思決定支援	意思決定に必要な情報を利用者・家族に提供する						
	利用者・家族の意思や目標が実現できるように調整する						
	タイミングに合わせ本人の意思決定に寄り添う						
エンパワーメント	利用者・家族がもつ力を最大限に引き出す						
	利用者・家族の療養に関わる選択・決定を長期にわたって支援する						
	利用者や家族を一単位の看護の対象として介護負担や自己実現の点からアセスメントする						
家族支援	利用者・家族の健康管理や日常生活の相談に応じ、共に考える						
	自立にむけて必要な社会資源をアセスメントし、利用者・家族の相談にのる						
	利用可能な制度・社会資源を把握し、活用方法を説明する						
社会資源	自分の所属する組織の地域の社会資源を説明する						
	訪問看護の知識・技術						
	所属事業所が担当する利用者の特徴を把握する						
訪問看護の知識・技術	在宅療養継続のため利用者・家族の状況に応じて必要な医療処置や看護を工夫する						
	フィジカルアセスメントから利用者に適した看護実践を考える						
	利用者の全身状態に応じ、適切な情報収集を行い、異常な状況を適宜、管理者・医師へ報告する						
	呼吸器・循環器・消化器・中枢神経等の各系統に関する意図的な情報収集から、緊急性や重症度の判断ができ、必要に応じ報告・相談する						
フィジカルアセスメント	訪問時、利用者・家族に潜在的問題(悪化の予防・健康増進のための問題)がないか判断する						
	意図的な情報収集と利用者・家族の状況に応じたアセスメントにより、普段の生活を予測・確認し、必要な指導・支援を行う						
	次回訪問までに問題が起きないように予測して予防的看護を実施する						
	介護負担が最小限となるように、訪問時間内に効果的に看護を提供する						
在宅看護過程	自立に向けて看護計画を評価し、修正する						
	訪問看護ステーションの利用者全体の状況を把握し、夜間の携帯当番を担当する						
	感染症の予兆がないか確認しながら利用者・家族の手技を評価し助言する						
	主要な感染症への対応方法を理解し、発生を予防する						
感染管理	感染予防を考慮し、物品の選択や訪問の順番を考え行動する						

詳細版 CDP3

		初回(月 日)			2回目(月 日)				
能力	小項目	一人前	未経験	自己評価	育成者評価	未経験	自己評価	育成者評価	
		CDP3(訪問看護計画が立案でき、状況判断に応じた24時間の対応ができる)							
マネジメント能力	情報管理	事業所のマニュアルに従って、個人情報適切に管理する							
	組織運営管理	地域における事業所や看護の役割を理解し、他者に説明する							
		自分の行動が訪問看護の利用者確保につながることを意識する							
		訪問看護全体の質向上に必要なと思うことを提案する							
		組織運営に必要なと思うことを提案する							
	リスクマネジメント	疾患の進行や加齢等の変化によってリスクが高まる環境となっていないか確認し、整備する							
		組織的に対処すべき利用者・家族の問題に気づき報告する							
		フィジカルアセスメントの結果、緊急性や重症度に応じて、必要な関係各所に報告・連絡する							
		インシデント・アクシデントレポートの報告・記録をする							
	地域連携	災害発生時に自分の果たす役割を理解し、備える							
		サービス担当者会議などに参加し、看護職の立場で発言する							
		関係職種・機関に対して連携が必要な状況を判断し、適切に報告・連絡・相談をする							
人間関係能力	地域連携した内容について先輩や管理者に報告する								
	先輩や管理者と話しやすい関係を築く								
	自分より経験の浅い職員に関心をもち、組織になじめるようにする								
教育研究能力	自己啓発・自己学習	同僚の職員と様々な情報交換や相談ができる関係を築く							
		同僚・管理者の訪問看護の内容を聞き、自分の実践に活かす							
		自分の実践を直視し、傾向を把握して改善に取り組む							
	教育指導	自分の実践を直視し、足りないところの指摘を受け入れる							
		自分の看護能力を客観的に評価し、必要な学習や研修を受講する							
		行った看護実践を振り返り、事例検討会を行う中で、問題解決思考を持つ							
	研究	受け持ち利用者に必要な看護を体系的に学び、類似した課題を持つ利用者に看護を提供する							
		利用者・家族の持つ力を査定し、十分に発揮できるように指導する							
		自分の看護実践を整理し、後輩・実習生・研修生などに説明する							
		自分の看護活動を客観的に分析し、整理し、研究課題を見出す							
		研究活動や学会発表などに関心をもち、メンバーとして参加する							

【評価基準】 各CDPの評価項目ごとに、「未経験」の場合は○をつけ、その他は自己評価に1~5の5段階でチェックする

【評価の目安】 1:できない / 2:指示や確認がないと行動できない / 3:促しがあれば行動できる / 4:多少の促しは必要であるが行動できる / 5:できる

		初回(月 日)			2回目(月 日)			
能力	小項目	未経験	自己評価	育成者評価	未経験	自己評価	育成者評価	
	CDP4(利用者の支援に関する環境整備やチーム作りができる)							
	中堅							
基本的能力	基本姿勢	事業所の理念・活動目標を他の職員と共有する						
		他の看護職員が、就業上のルールを遵守できるように指導する						
		来客・電話への適切な対応について指導する						
		職場の雰囲気の変化を察知し、より良く変化させるための行動をとる						
		訪問看護師としての自分を肯定し、目指す姿を表現する						
	自分のストレスに気づき、コントロールする方策を持つ							
	倫理	倫理原則や看護者の倫理綱領をもとに困難場面を認識し、解決する						
		個人情報保護についての最新知識をもつ						
		利用者・家族それぞれの権利を擁護する						
	コミュニケーション能力	倫理的な配慮に努め、問題がある場合には、速やかに行動する						
		複雑な問題を抱えた利用者・家族から必要な情報を引き出す						
		関係職種と利用者・家族の情報および意見を交換する						
		利用者、家族の理解力に合わせ、確認しながら説明する						
	組織内部の連携	自分のコミュニケーション能力を客観的に評価し、強みを活かし不足分を補う						
		事業所内のリーダーシップを発揮する						
		事業所内の連携が促進されるように環境を整える						
		事業所内で効果的に自分の役割を果たす						
	看護サービス実践能力	意思決定支援	訪問調整が必要な際に、管理者に協力し調整する					
			意思決定支援を意識した、看護展開をする					
		エンパワメント	利用者・家族が自ら解決できる方向に導く					
利用者・家族の自立に向け、対象に合わせて支援する								
社会資源		事業所に関連する最新情報を利用者・家族に説明する						
		利用者・家族による社会資源の適切な活用を支援する						
訪問看護の知識・技術		自分が行っている医療処置や看護援助について、利用者・家族、関係職種に説明する						
		医療機器管理や処置の必要な利用者に対し、状況に応じて看護提供をする						
		処置や手当てについて、利用者・家族の状況に応じた方法で手際よく実施する						
		所属する事業所の特性を踏まえ安全に時間内に看護を提供する						
フィジカルアセスメント		利用者・家族に必要な看護を提供するために、認定・専門看護師等のリソースを活用し、知識・技術をブラッシュアップする						
		フィジカルアセスメントから利用者に適した看護実践を判断する						
		管理者不在時、利用者の正常・異常の判断について、指導的役割をとる						
在宅看護過程		呼吸器・循環器・消化器・中枢神経の各系統に関する意図的な情報収集から利用者の全身状態悪化の予防について考える						
		同僚の訪問看護に対して必要時、助言・指導する						
		モデル的な看護実践を教示する						
		利用者を総合的に捉え、予測を持って適切な判断ができ、その状況にあった看護提供を選択する						
		利用者・家族に対し必要な指導がわかり、丁寧に説明する						
		家族も含めた看護計画を立案し、必要時は評価・修正し看護実践する						
日々の看護記録から多職種連携の際に必要な情報をまとめ、サマリー等の記録を作成する								
夜間の電話当番を担当し、予測を持って利用者への対応や緊急時の対応をする								

		初回(月 日)			2回目(月 日)			
能力	小項目	中堅	未経験	自己評価	育成者評価	未経験	自己評価	育成者評価
看護サービス 実践能力	感染管理	感染管理について、関係職種と情報を共有し、方針を統一する						
		感染症発生時、拡大を最小限に抑えるため、迅速に対応する						
マネジメント能力	情報管理	期日までに記録を所定の場所に保管する						
		入手した個人情報を、組織内で適切に管理・活用できるように環境整備する						
	組織運営管理	管理者不在時、チームの1日の業務調整を行い、管理者に報告する						
		運営・経営・管理についての目標を理解する						
		訪問看護に必要な物品の保守管理に責任をもつ						
		訪問看護の質向上に関心を持ち、事業所の看護実践の評価に加わる						
		職員・利用者の動きに注意を払い、調整の必要な時は応じる						
		ステーションカンファレンスや委員会、所内活動に自発的に参加する						
		看護記録・サマリー等の内容を検討し、より良い様式を考案する						
		各委員会マニュアルや技術マニュアルの見直しを提案する						
	リスクマネジメント	利用者・家族の安全・安楽な療養環境について職員に指導・助言する						
		必要時、行った看護実践の結果を含め、利用者の変化が必要な関係各所に報告・連絡する						
		利用者・家族の問題を予測し、予防的な対応をするよう職員に指導・助言する						
		虐待が予測される場合、他者の支援を得ながら迅速に対処する						
		災害時の被害を最小限にするよう、利用者・家族に対応を説明し、予防的に行動する						
		災害対策を理解し、リーダー的に行動する						
		リスクマネジメントを意識した看護提供をする						
		インシデント・アクシデントレポートを看護活動に活用する						
	地域連携	サービス担当者会議や退院時共同指導や退院時の支援などで、多職種相互の役割を理解し、看護師としての意見を伝える						
		サービス担当者会議や退院時共同指導や退院時の支援などの際に、書面においても同様に看護師としての意見を記す						
関係職種・関係機関の専門性を尊重し、円滑な連携に努める								
多職種との連携チームにおいて円滑な連携と協働を図る								
政策化	個別の看護援助から、地域住民全体への課題解決(健康生活の維持、向上等)の視点を持つ							
人間関係能力	人間関係能力	関係構築の困難な人に対して、根気強く関係づくりに挑む						
	利用者・家族に関わる、関係職種全体の信頼関係を築く							
	職務上の不安・悩みについて同僚・管理者に表出し、解決の方向性を見出す							
教育研究能力	自己啓発・自己学習	訪問看護師としての自分の将来像に向かって行動する						
		訪問看護に必要な法や制度を理解しようと常に努力する						
		自分の強みを生かし、チームに貢献する						
		積極的に外部研修会に参加する						
		事業所内研修で、外部研修会での学びをチームで共有する						
	教育指導	根拠に基づいた看護から評価を行い、知識を統合させ、より複雑な課題を持つ利用者の看護へ生かす						
		利用者・家族の生活環境や価値観とQOLを考慮して教育指導を行う						
		事業所内での勉強会などを企画運営する						
		同僚と実習・研修生などに対して、支援的態度で接する						
		後輩看護師の業務理解のために助言をする						
研究	自分の関心事を見出し、テーマを決めて研究的に取り組む							
	研究活動や学会発表を行う							

詳細版 **CDP5段階:達人** 横浜市訪問看護師のキャリアラダー・発達別訪問看護師チェック表

【評価基準】 各CDPの評価項目ごとに、「未経験」の場合は○をつけ、その他は自己評価に1~5の5段階でチェックする
 【評価の目安】 1:できない / 2:指示や確認がないと行動できない / 3:促しがあれば行動できる / 4:多少の促しは必要であるが行動できる / 5:できる

		初回(月 日)			2回目(月 日)			
能力	小項目	達人	未経験	自己評価	育成者評価	未経験	自己評価	育成者評価
基本的能力	基本姿勢	訪問看護としての誇りを持ち続け、モデルとなるように心がける						
	倫理	事業所の倫理的問題への対処能力を高めるように行動する						
		個人情報管理と保護についての取組状況を他者に説明し、指導する						
	コミュニケーション能力	法律や制度を確認しながら、倫理的な問題について率先して解決を図る						
	組織内部の連携	効果的なコミュニケーションを通じて、事業所内外の問題解決を図る						
事業所職員が必要とされている役割を果たせるように、個々に調整的に関わる								
看護サービス実践能力	意思決定支援	リーダーシップをとる						
	エンパワメント	利用者・家族が持つ力を強化し、自立的に生活できるよう支援する						
	家族支援	家族を地域ぐるみで支援する取組に参加する						
	社会資源	管理者と共に、利用者に必要な資源を開拓する						
	訪問看護の知識技術	在宅看護の最新知識・技術の情報を収集し、職場全体の看護の質の向上を図る						
		理論的知識と実践的知識を応用し、科学的分析がわかりやすく伝えられ看護を効率よく実施する						
		在宅看護技術の現状の課題を提示し、技術開発に貢献する						
		所属する事業所の特徴について他職員に説明し指導する						
	フィジカルアセスメント	医療機器や処置の必要な利用者に対する看護を、他職員に説明・指導する						
	在宅看護過程	利用者に行った看護実践の効果測定や評価の目安・指針となる情報を考える						
看護職員が行った援助が、利用者・家族のQOLを重視したもとなっているかを評価する								
看護職員が対応困難と感じている利用者・家族の看護援助について、相談に応じ支援する								
感染管理	夜間の電話当番をする後輩の支援をする							
	感染管理体制の整備を補佐する							
	拡大が予測される感染症発生時には、関係者が協働して対応できるように働きかける							
マネジメント能力	情報管理	感染対策委員会の運営について理解し、リーダーシップをとる						
	組織運営管理	チームメンバーが、個人情報保護の順守ができるよう指導する						
		事業所の理念に基づいて行動でき、チームにおいて目標達成のための活動促進と評価する						
		管理者と共に組織的な課題解決に取り組む						
		管理者と共に、看護職員が力を発揮できるような労働環境を作る						
		管理者と共に、事業所の健全な経営を維持する						
		管理者と共に、質評価指標などを用いて組織の現状分析を行う						
		健全な管理・運営に、必要な進言を管理者に行う						
		利用者全体とスタッフの動きに、注意を払う						
		メンバーからの報告や情報内容を判断し、的確に管理者に報告する						
看護の質を確保する際、業務改善について建設的に意見を述べ、推進役として積極的に行動する								
	各委員会活動内容を理解し、活動協力する							

詳細版 CDP5

		初回(月 日)			2回目(月 日)		
能力	小項目	未経験	自己評価	育成者評価	未経験	自己評価	育成者評価
	CDP5(訪問看護の質の向上に関わり、リーダーシップをとることができる)						
	達人						
マネジメント能力	リスクマネジメント	管理者と共に組織としての危機管理を行う					
		苦情に適切に対応する					
		危機が生じた場合、他専門職と共に検討し解決に導く					
		管理者と共に災害時対応マニュアルを作成し、定期的に訓練・確認を行う					
		緊急時や予定外の訪問の必要性や時期がわかり安全に訪問する					
		緊急時や予定外の訪問の際に、必要な報告や連絡調整をする					
		災害対策委員会の運営について理解し、リーダーシップをとる					
	安全対策委員会の運営について理解し、リーダーシップをとる						
	地域連携	多職種との協働の中で、看護の専門性を発揮する					
		事業所間の新しいネットワークを、必要に応じて作る					
政策化	活動地域の保健行政による対応が必要な地域課題を見極め、関係各所に働きかける						
人間関係能力	職員個々の悩みを受け止め、必要時には管理者・同僚に相談する						
	職員間の人間関係における困難や悩みを把握し、支援する						
教育研究能力	自己啓発・自己学習	自分の能力を客観的に評価し、不足部分を克服する					
		理論を活用してより複雑な課題を持つ利用者へ看護を提供するとともに、他者に指導する					
	教育指導	看護者の倫理綱領を参考に倫理的視点で看護ケアを後輩に指導する					
		看護職員に対して、個々の特性を踏まえ、教育的視点から助言・指導する					
		看護実践・マネジメントにおいて、役割モデルとなり後輩指導や学生指導をする					
		所属する事業所の特性を踏まえた看護について、後輩に助言する					
		訪問看護提供内容をタイムリーに、主治医や上司に報告することについて、具体的な方法を後輩に助言する					
		医療機器や処置の必要な利用者の看護について、具体的な方法を後輩に助言する					
		看護職専門知識や技術・能力の向上のために要する、教育資源・費用・体制の準備に加わる					
		管理者と共に実習・研修の受け入れ、教育指導体制を整備する					
		スタッフの主要な人材資源となり、看護技術や知識の向上を促進させる動きをする					
		同僚や後輩のわからない事や、業務上の悩みについて相談役割を果たす					
		地域包括ケアシステム向上に向けて教育的役割を果たす(研修・講義・担当勉強会など)					
		ケースカンファレンスや勉強会を開催し、運営・まとめができる					
		研究	実践研究活動(学会参加等)を継続的に実施し、その結果を公表する				
	地域包括ケアシステムの開発に看護職として貢献するための研究を行う						